

リバーサイド逍遙

◆パーキング 豊田スタジアム(☎八七五二〇〇)の南駐車場
 ◆ルート 六・八kmの平坦な河川敷の道 ◆所要時間 一三〇分

豊田スタジアムの南駐車場(三時間まで無料)で車を降ろす。

市制五〇周年を記念して建設され、平成一三年七月にオープンした豊田スタジアムは、開閉式屋根を備え、四万五〇〇〇人を収容できる巨大サッカー場。西側のイベント広場を通り抜け、贅を尽くした、華麗な豊田大橋の左岸橋脚の構える千石公園へ下る。下流四〇〇mには片側二車線のピカピカな久澄橋がある。

千石公園は広大な河川敷を運動公園として野球・ソフトボール・サッカー等に利用しているが、さきの大戦中から昭和三〇年代の前半までは、付近住民の野菜や麦等を栽培する肥沃な農地だった。なんと多くの人々の空腹を満たす糧を産していたことか。

矢作川本流沿いの歩道を高橋に向けて

歩く。流れは上流にあるいくつかのダムに水をとられてやせ細ってはいるが、下水道の敷設で生活排水の垂れ流しがなくなり、清流がもどり、天然アユの遡上が年々増えてきたということだが。

夏場は雑草が伸びて通れないこともある高橋の下を抜けると、市木川が矢作川へ流れ込む地点がある。その左手奥の河川敷は遊水池の役割を担っているが、ゴルフが庶民にまで広まりだした一九七〇

年代から、公園緑地協会が経営する広々とした「矢作緑地ゴルフ練習場」になっていた。が現在は「川田公園」となり、南からラジコン場・ラグビー場・野球場そしてゴルフ練習場と分割されている。

市木川と矢作川の流れを隔てる堤防の上を歩いて、内環状線道路へ。歩道で平成記念橋を渡り、荒井町の兵主神社へ足

を踏み入れる。そこは名木第二二三号「兵主神社叢林」となっている。

籠川の橋には歩道が片側にしかない。歩道への横断に気をつけて川端公園。こゝも各種球技のできる運動公園。

高橋の下を過ぎると白浜公園。陸上競技場だったり、遊園地だったり、イベント会場だったりする。真夏の宵の花火の饗宴が繰り広げられる場所でもある。

白浜公園を真っ二つに分断したのが豊田大橋。右岸橋脚の階段を上がり、橋上から矢作の上流と下流、そして市街と東方の山々の景観を楽しみ、左岸橋脚からスタジアムを時計回りで駐車場へ。



豊田大橋

ポイント

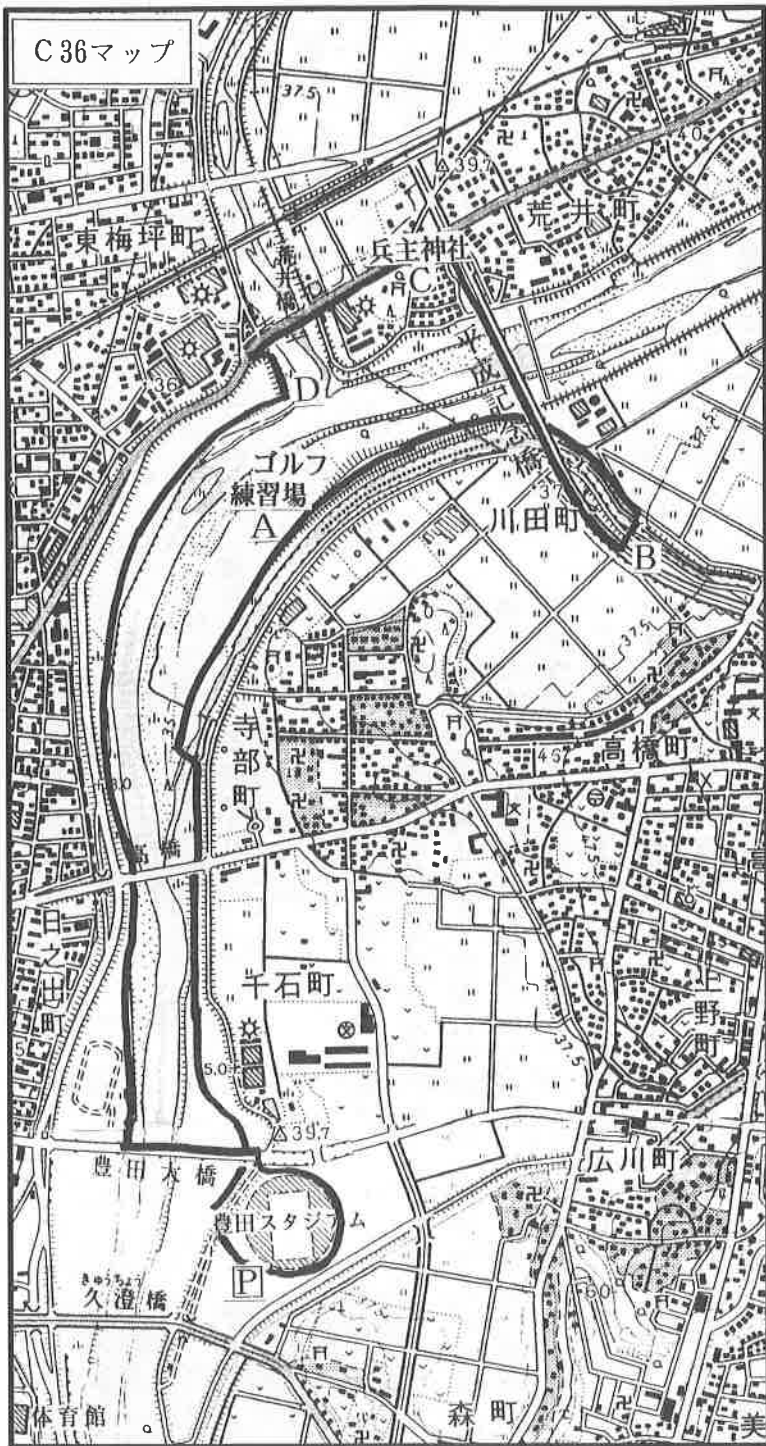
P【豊田スタジアム南駐車場】イベント広場から河川敷の千石公園へ下り、遊歩道を進んで、高橋の下をくぐり、小橋を渡ってA点へ。

A【矢作緑地ゴルフ練習場】練習場の右の堤道を歩いて市木川の右岸本堤防道に上がって平成記念橋の下をくぐる。最初の橋を渡ってB点。

B【路肩公園の東屋】平成記念橋の歩道で荒井町側へ渡り、交差点で左折してC点へ。

C【荒井町の兵主神社】国道の歩道に出て、荒井橋を渡る。自動車に注意し、左折してD点へ下る。

D【籠川河口河原】川端公園の遊歩道を白浜公園へ。豊田大橋に昇り、豊田スタジアムをぐるっと廻って駐車場へ戻る。



《メモ》

河川敷の各公園に移動式簡易トイレが設置されている。